

愛怨峡 (1937)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 108分
初公開日 1937/06/17

【解説】

川口松太郎の原作を溝口健二が依田義賢とともに脚色し監督した。トルストイの小説『復活』を下敷きに、力強く生きる女性の姿を描いた名作。フィルムは失われたとされていたが、完全ではないものの発見され、DVDとしてリリースされた。

信州で旅館の女中をしているおふみは、その旅館の跡取りである謙吉と深い仲になるが、謙吉の父親に結婚を許してもらうことができず、二人で東京へ駆け落ちした。しかし謙吉は働きもせず、貧しい生活に耐えきれず実家に戻ってしまう。謙吉の子供を妊娠し一人残されたおふみは、流しのアコーディオン弾きをしている芳太郎の世話になり、子供が生まれると里子に出した。おふみは芳太郎と漫才コンビを組み地方を訪れた際、謙吉と再会するのだが…。

【クレジット】

監督 溝口健二
原作 川口松太郎
脚色 依田義賢
溝口健二
台詞監督 水品春樹
撮影 三木稔
美術監督 水谷浩
衣裳 新興衣裳部
編集 板根田鶴子
近藤光夫
音響効果 杵屋正八郎
音楽 宇賀神味津男
助監督 高木孝一
関忠果
出演 山路ふみ子 村上ふみ
河津清三郎 鈴木芳太郎
三樹豊 謙吉の父安造
明晴江 謙吉の母おしん
田中春男 謙吉の友人広瀬恒夫
野辺かほる その妻里子
浦辺糸子 産婆村井ウメ
大泉慶治 その夫浩太
菅井一郎 街の紳士森三十郎
大友壮之助 刑事新田格

大川修一	よたもの小山譲二
鳥橋弘一	講談師神田伯山
田中筆子	万才師春廻家小春
上田寛	万才師春廻家笑福
ジョウ・オハラ	小唄流行亭左松
奈美乃一郎	浪曲師天広軒虎松
滝鈴子	女道楽立花家歌之助